

第2章 教育研究組織

1. 現状の説明

(1) 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。

東海大学は1942年に学園を創設、翌1943年静岡県清水市に、東海大学の前身である航空科学専門学校を開設したことに始まる。その後1946年に旧制大学令により東海大学が認可された。当時の文部省に提出された大学認可申請書には、「人文科学と自然科学の融合による確固たる歴史観、国家観、世界観を把握せしめる」とあり、これが本学の「文理融合」の教育理念となっている。

第1章の理念・目的等において前述したこの教育理念のもと、人道に根ざした深い教養をもつ有能な人物を養成すると同時に、高度の学問技術を研究教授することにより、人類社会の福祉に貢献することを目的として、21学部84学科・専攻・課程を擁する総合大学となるに至った。

東海大学大学院は、東海大学建学の精神に則り、専門分野における高度な学術の理論及び応用を教授研究し、その意義を認識すると同時に、その深奥を究め、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の創造発展と人類の福祉に貢献することを目的とし、21研究科50専攻の組織構成が行われている。

また、研究組織として12の研究所・センター(創造科学技術研究機構、社会連携イノベーションセンター、文明研究所、海洋研究所、総合医学研究所、糖鎖科学研究所、教育研究所、スポーツ医科学研究所、総合農学研究所、沖縄地域研究センター、総合科学技術研究所、情報技術センター)を設置している。建学の理念に基づき付置研究所の理念を挙げて活動している。

なお、本学では、4つの附属病院を有し、診療活動をおこなうとともに医学部、健康科学部の教育の場としている。

(2) 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。

学部・研究科等の教育研究組織については、定期的に定員充足率等の検証を行い、適切に対処している。2014年度の設置計画履行状況等の調査結果については、根拠資料2を参照のこと。

2. 点検・評価

評定 A

基準2の充足状況

本学の教育理念のもと、ほとんどの学部・学科では、定員を満たしており、教育組織を適切に運用している。しかし、類似の学部学科・研究科があり、名称だけでその学びの内容を判断しづらくなっている。また、一部、学生の定員確保が難しくなっている学科が見受けられ始めている。

2014年度は、工学研究科医用生体工学専攻と文学研究科観光学専攻の2研究科を設置した。

① 効果が上がっている事項

i) 社会や学生の要請に対応した研究科を設置した。

② 改善すべき事項

- i) 類似の学科・研究科が増えたことにより、第三者から見たときに、その学びの内容を判断しづらくなっている。
- ii) 現在の組織名称だと、学部学科と研究科専攻の繋がりが分かりづらい。

3. 将来に向けた発展方策

① 効果が上がっている事項

- i) 大学のミッション実現のための組織となるよう、現行の教育研究組織を常に見直し、再編成を行っていく。

② 改善すべき事項

- i) 2016年を目途に、大学院工学研究科の改組改編を行う。
- ii) 学生確保が見込めない教育組織（定員の5割を3年連続確保できない教育組織）については、第二期、三期教育改革と合わせ、その組織構成を見直す。

4. 根拠資料

根拠資料 2-1. 学校法人東海大学学園総覧 2014

根拠資料 2-2. 東海大学研究所規程